



二〇〇九年度 地域研究フィールドワーカーのための

デジタル映像ワークショップ(写真編)



- 開催期間：第一回 2009年9月10日(木) フィールドワークと写真
- 第二回 2009年9月18日(金) カメラの基本とデジタルカメラ
- 第三回 2009年9月25日(金) 撮影実習と講評会

※いずれも午前10時～午後4時、詳細は受講者に別途お知らせします。なお、三回連続で受講でも、テーマを選んで一回だけの参加でもかまいません。

- 講師： 齋藤 秀一
(東北大学東北アジア研究センター客員研究支援者・齋藤秀一写真事務所主宰)
- 高倉 浩樹
(東北大学東北アジア研究センター准教授)

- 会場：東北大学東北アジア研究センター
(〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内41番地 <http://www.cneas.tohoku.ac.jp>)

- 募集人数： 各回15名

- 参加資格： 地域研究・人類学・民俗学などに関わる次世代の研究者および実務者
(教員・研究員・学芸員・院生・学部生および文化行政組織・NGO・NPO等の関係者)

▲ 申込方法

- ・東北アジア研究センターのHPにある申し込みサイトから参加申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、申込先に電子メールでお送りください。
- ・募集人数に限られているため、原則として先着順に参加者をきめます。お早めにお申し込みください。参加者には、追ってアクセス、会場等についての詳しい説明を送ります。またワークショップの内容について相談する可能性もあるので、必ず連絡先を記入してください。

▲ 申込先

東北大学東北アジア研究センター 高倉浩樹 (メールアドレス [takura\[at\]cneas.tohoku.ac.jp](mailto:takura@cneas.tohoku.ac.jp))
※[at]は@にしてください

応募期間：2009年7月13日～8月26日

地域研究や人類学分野でのフィールドワークにおける映像記録(写真・ビデオなど)は、研究資料としての貴重な価値をもっています。と同時に、研究成果の社会還元のための媒体としても重要です。近年のデジタル技術の進展に伴い、「撮影から画像処理、編集、保存まで」といった映像に関する全ての作業は、パソコンを使い「自分でつくる」ことが可能となりました。

本ワークショップは、こうした現状をふまえ、広い意味での地域研究にかかわる次世代の研究者・実務家に対し、デジタル映像制作についての技術や考え方について講習・実習するものです。

今年度は

「フィールドワークと写真」

「カメラの基本とデジタルカメラ」

「撮影実習と講評会」

の三つのテーマを設けます。

関心のある方のご参加をお待ちしております。



主催：地域研究コンソーシアム 共催：東北大学東北アジア研究センター